

教育委員会からのお知らせ

平成 28 年全国学力・学習状況調査結果の公表

4月19日、今年度で10回目となる全国学力・学習状況調査が、全国の小学6年生と中学3年生を対象に行われました。

- 一昨年度より「教育委員会だより」で町民の皆さんに調査結果をお知らせしておりますが、より見やすくするために昨年度から町広報で掲載しております。

全体総括：

全国、特に全道的に学力向上への取組が強化し、昨年度より平均が上がっておりますが、当町におきましては、平成19年度から右肩上がりでは上昇していた傾向から、今年度は下降する結果となっております。

学習状況調査から、家庭学習の時間を確保し継続すること、児童生徒一人一人の可能性やよさを伸ばす個に応じた指導を充実することが、今後も大切です。今年度、町内小中学校で長期休業中などの補充学習を行っています。

●学力向上には、保護者・地域住民の皆さんが各学校の課題を捉えて共通理解を図り、地域が一体となつて取り組みを進めることが必要であるといわれています。

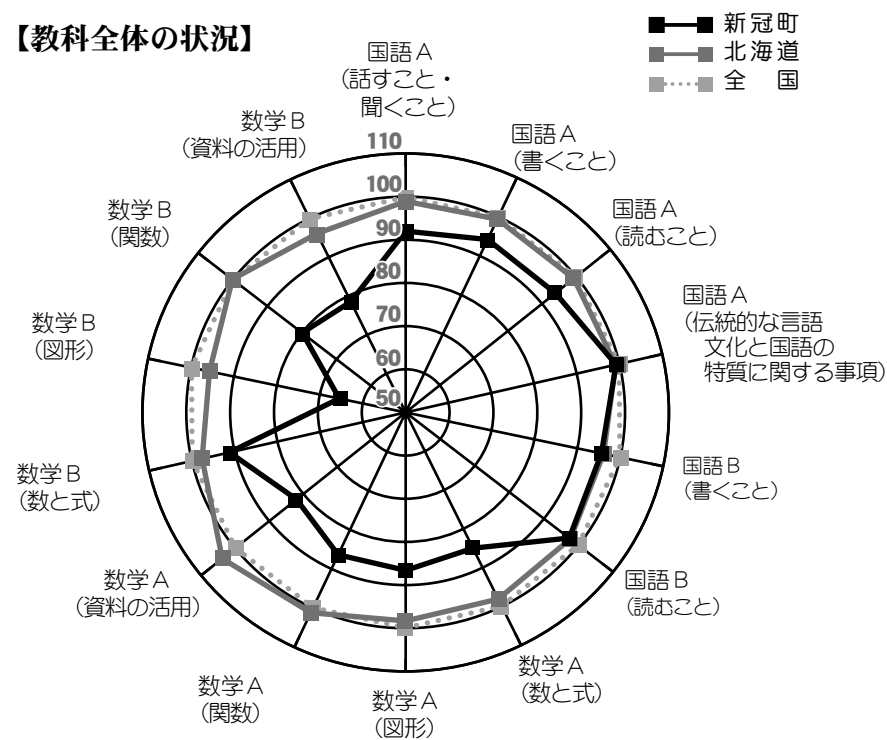
●本掲載によりまして、各小中学校の取り組みにますますご理解をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

●問い合わせ先：
教育委員会管理課管理グループ ☎0146・47・2547

新冠町内中学校

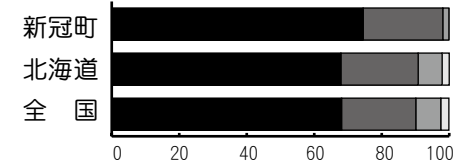
(学校数1校、生徒数55人)

【教科全体の状況】



【生徒質問紙調査】

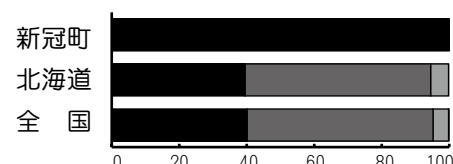
Q：家で学校の宿題をしていますか？



- している
- どちらかといえば、している
- あまりしていない
- 全くしていない

【学校質問紙調査】

Q：国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行いましたか？



- よく行った
- どちらかといえば、行った
- あまり行っていない
- 全く行っていない

実施結果↑

分析など↓

【分析】

教科	○国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全道を上回るとともに、国語Bでは、「読むこと」で、全国とほぼ同様となっております。	全体をとおして： ○家庭学習の促進及び生活リズムの確立等、生徒の望ましい生活習慣の定着を図ったことにより、家で学校の宿題をしている生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられます。
生徒質問紙	○家で学校の宿題をしている生徒の割合が、全国及び全道を上回っています。	
学校質問紙	○国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った学校の割合が、全国及び全道を上回っています。	

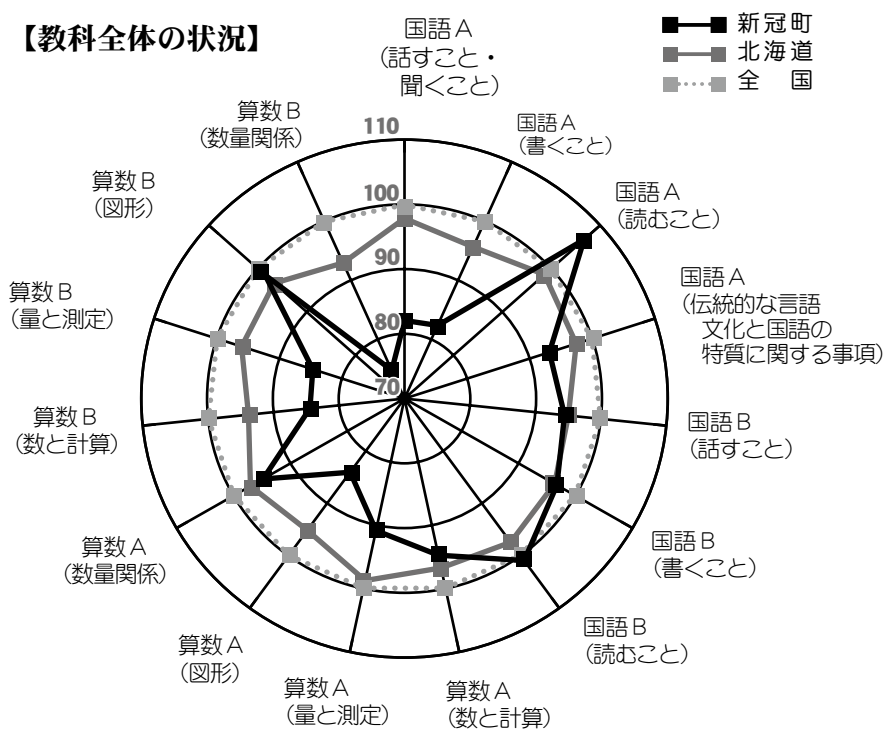
【新冠町の学力向上策】

- ◎生徒の実態と学習指導要領の趣旨やねらいを踏まえた教育課程の編成・実施。
- ◎基礎・基本の徹底と活用力の育成に重点をおいた教育活動の展開。
- ◎授業における目標・課題の明確化と振り返りの学習の場の設定。

新冠町内小学校

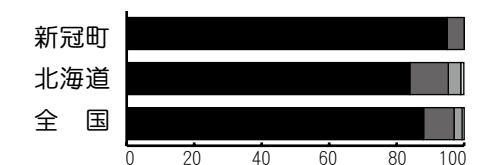
(学校数2校、児童数40人)

【教科全体の状況】



【児童質問紙調査】

Q：家で学校の宿題をしていますか？



- している
- どちらかといえば、している
- あまりしていない
- 全くしていない

【学校質問紙調査】

Q：国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか？



- 行った
- あまり行っていない
- 全く行っていない

実施結果↑

分析など↓

【分析】

教科	○国語Aでは、「読むこと」で、全国及び全道を上回っています。国語Bでは、「書くこと」で全道を、「読むこと」で、全国及び全道を上回っています。	全体をとおして： ○家庭学習の促進及び生活リズムの確立など、児童の望ましい生活習慣の定着を図ったことにより、家で学校の宿題をしている児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられます。
生徒質問紙	○家で学校の宿題をしている児童の割合が、全国及び全道を上回っています。	
学校質問紙	○国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った学校の割合が、全国及び全道を上回っています。	

【新冠町の学力向上策】

- ◎学校改善プランによるカリキュラム・マネジメント及び組織マネジメントの確立。
- ◎基礎・基本となる学力の定着や学習・生活ルールの徹底、習熟・応用力を高める学習過程の工夫。
- ◎認定こども園・小・中の連携促進による早期からの一貫した支援の充実。